

相愛大学研究シーズ集

シーズ名	アロニア果汁中に存在する機能性物質の検討
所 属	人間発達学部 発達栄養学科
氏 名	今井ももこ
<p>【概要】</p> <p>これまでに、ポリフェノールを含む食品の生理機能の報告が多くされている。その中で、ポリフェノールを豊富に含み、2型糖尿病や肥満を改善する効果があることが報告されているアロニア (<i>Aronia melanocarpa</i>, chokeberry) に注目し、研究を行っている。アロニアは北米原産のバラ科に属する果樹で、これまでの研究で2型糖尿病治療薬であるジペプチジルペプチダーゼIV (DPP IV) 阻害物質の存在が明らかとなっている。また、アロニア果汁摂取により小腸の α-グルコシダーゼ活性が阻害されることが判明している。</p> <p>本研究では、①アロニア果汁に含まれるDPP IVインヒビターであるシアニジン-3,5-ジグルコシドを2型糖尿病・肥満モデルマウスに摂取による、糖尿病および肥満への効果の検討、②ポリフェノール高含有食品の機能性モデルとしてアロニア果汁摂取による2型糖尿病・肥満改善の分子メカニズムの解明、③アロニア果汁中の2型糖尿病・肥満改善物質の同定、④同定物質のin vivoでの効果の確認を行うことを目的とする。</p>	
キーワード	アロニア、抗2型糖尿病、抗肥満